

はだのエコスクール 西小学校 報告

2月7日、秦野市立西小学校3年生114名を対象に体育館を開放して環境教育(エコスクール)を行いました。

テーマは「野生動物と人間との共生」、身近にいる野生動物について皆で考えてみようというものです。

スライドを使つての講義の後は、6班に分かれ、触れ合いタイムに。

傷病鳥獣として保護されたタヌキの「ハヤタ」君、フクロウの「ウイズリー」君を始め、野生動物の剥製、野鳥の羽根標本などを間近に見ながら、色々なことを学びとってもらえたと思います。

今回、初めて環境教育の場に参加したというボランティアさんから感想文が届いています。

三輪 早見

児童たちは、事前に野生動物についての学習を進めていたようで、熱心にこちらの説明を聞いてくれ、質問にも積極的に手を上げて答えてくれました。6班に別れてからの説明では、1組の人数が多少多く感じました。もうすこし少ないグループのほうが、お互いに(子どもたちも自由に質問しやすく)やり易いかもしれません。まだ柔らかい子どもたちに、この野生動物を考える経験が与える影響は大きいと思います。人と動物の関係がもっとよくなっていくことを願っています。

山口菜穂

